

補助金評価シート

区分	重点 (重点以外)	補助根拠	法令補助 ・ その他補助	開始時期	平成30年4月1日	終期	令和3年3月31日
補助事業名 [下段に制度概要を記載]	地域拠点商業活性化推進事業補助金 「コンパクトなまちづくり」を商業分野から推進する各区の地域拠点商業活性化推進計画に記載された活性化事業を行う商店街・団体に対する補助金						
款・項・目	商工費 商業費 商業振興費						
所属等	経済部 商業振興課 商業グループ 電話 025-226-1633						

年 度		平成30年度 (1年目)		令和元年度 (2年目)		令和2年度 (3年目)	
予算額等の推移	予算(千円)	47,712		50,866		65,609	
	決算(千円)	41,240		34,471		42,976	
補助率		1/2又は2/3		1/2又は2/3		1/2又は2/3	
目 標		補助事業を活用する事業が年間69件以上 <目標が数値でない場合の評価方法>					
目標に対する達成度(指標)	達成率100%以上						
	達成率 80%以上	97.1%	67件	82.6%	57件	81.1%	56件
	達成率 50%以上						
	達成率 50%未満						
	目標が非数値化 ※取扱基準に記載した評価手法に基づく達成度について記入してください						
補助事業者による情報の公表		事業成果品、事業報告書など					

評価欄	チェック	a. 補助対象経費は事業の直接経費となっているか	○	e. 指標の推移が維持・向上しているか	○
		b. 補助率は1/2以内か	×	f. 補助事業者による情報の公表は適正に行われているか	○
		c. 補助額が5万円以上になっているか	○	g. 目標は数値化されているか	○
		d. 収入が過剰になっていないか(繰越金が生じていないか)	○	h. 目標は補助金の成果を検証しやすい設定か	○
×になった項目に対する今後の取組	<a~fにおける取組> 本市が目指す多核連携のコンパクトなまちづくりを推進するため、今後も、拠点商業地内で実施される取り組みに限って、既存制度の補助率のかさ上げ等のインセンティブを与えることで、拠点計画の策定、及び、拠点商業地内の取り組みをさらに促進していく。				
	<g~hにおける取組>				
目標未達成の原因分析		<期間(3年)を通して目標達成率80%未満の場合、なぜ達成できなかったか>			
① 拡充・改善 (補助率, 補助額, 補助対象経費, その他) ② 継続 ③ 廃止					
①~③の評価理由 ※目標未達成の原因分析に該当の場合はその要因を踏まえて今後どうするのかを記載すること 同計画に記載された活性化事業の実施を支援することにより、「コンパクトなまちづくり」の推進及び本市商業の振興に特に資すると認められるため、引き続き支援していく。					